

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年3月29日

事業所名：チャイルドケアハースラーニング重心

アンケート期間：2024年2月1日～2024年2月22日

	チェック項目	はい	いいえ	該当しない	工夫している点や改善すべき点	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	0	・発達段階や安全面に配慮した区切り ・土日は狭く感じる ・知的発達のラボやラーニング、リンクの利用が合っている児童が多い日などは安全面に対する配慮や過ごし方に制限ができる	室内の整理整頓、清潔面を徹底させつつ、室内の広いスペースの確保と活動内容に合わせ、子ども達が楽しいと思える空間、快適な環境をご提供できるよう努めてまいります。
2	職員の配置数は適切であるか	3	3	0	・日によってギリギリの配置である	基準を満たし、かつ安全が保てるよう職員を確保しています。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	・適正に設置されている	落ち着いて過ごせるように部屋を分けるなど配慮しています。玄関からバリアフリーとなっており、スロープにも滑り止めを設置。各種、手すりなども設置してあります。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	2	0	・物が多いため、常に整理整頓は必要	季節に合わせた、壁面飾りを準備しています。子ども達が目で見て楽しめる空間づくりを徹底しています。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	0	・日々の申し送りや職員間で定期的にミーティングを開催し、ご利用者様の情報共有や支援方法について検討 ・レクリエーションなどの活動計画、運営していくうえで改善すべきことなど話し合いをしている	面談も参加できる職員はできるだけ多く参加したり、面談の内容の申し送りと議事録の作成、それを踏まえてのモニタリングをチーム全体で評価し、カンファレンスをミーティングで行っています。そのカンファレンスを元に原案を作成しなおし、その原案の見直しと確認を再度会議で検討して、計画書を作成しています。
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	・保護者会を実施しているが、的を得た回答が出来ていないことがある	これからも、保護者様との適切でより良い関係性を保ちながら、ご家族支援の観点に立ち定期面談以外にも、電話や訪問ご要望があればいつでもご相談いただける環境を整えてまいります。保護者会での聞き取り内容・返答につきましても見直していき、保護者様・ご本人様の不安やお困りごとの解消につなげていけるように努めてまいります。
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0		今後もご利用者様からいただいた評価をもとに、業務改善・支援の質の向上に取り組んでいきます。ホームページで公開しています。
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	0		今後も外部評価をつづけ、業務改善に努めてまいります。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・できる範囲で実施している	ZOOM研修や他施設の研修、他事業所との連携研修など、積極的に職員が興味を持った研修に自発的に参加できるよう努めてまいります。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	・実施できている	初回利用時やその都度保護者様と情報共有をしてニーズに合うように作成するように努めています。

11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	・実施できている	標準化されたアセスメントシートが重度心身障害児向けの傾向が強い内容となっているため、当事業所用に作成した項目シートも追加しています。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0		これからも作成した計画書の内容説明を、計画書をご覧いただきながら丁寧に行ってまいります。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	0	・保護者会での聞き取りや更新カンファレンスでの検討内容に基づいて支援計画の作成、計画に基づいた支援を行なっている	計画書の重要性と支援内容の把握のため、定期的に計画書の確認の時間を設け、職員全員が計画書の重要性と内容を十分に把握するため、定期的な内容を確認する時間を作り、ご利用者様一人一人の計画書の内容を理解して支援できるよう努めています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	・児童指導員が中心に工夫された活動が計画されている	前月に活動スケジュールをチームで立案、利用児童に合わせて調整をしています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	・利用者別に合った活動が考えられている	日々の活動が固定化しないように、スタッフ間で遊びの情報共有し、子ども達が遊びや楽しいと思える活動をしていく中でたくさんの経験が積みあがることも達ファーストで活動プログラムを提供できるよう努めてまいります。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	・状況に合わせて柔軟に対応している	計画書の目標に、個別活動による目標課題と集団活動による目標課題を設け、日々集団支援と個別支援を意識して療育にあたっています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	0		朝の申し送りにて個々の児童の支援内容を確認したうえで、検討すべき点は職員全員で相談し内容の変更などを行っています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	・少しでも気づいたことがあればその都度相談している ・シフトの時間が異なり難しいことが多い	その日が休日の職員が翌日確認ができるよう会社のアプリにて情報の共有をしています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	・記録としてはないが相談を受けることはある	当日の利用児童全員、できるだけ多くの支援経過を業務日誌や連絡帳等に記録しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	・更新時期でモニタリングの実施ができている	職員全体で話し合う定期的なミーティングの中で、更新児童のモニタリングを行なっています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	・管理者のみでなく必要と判断される職員が参加できている。	管理者のみでなく全員が多く参加できるようにしていきます。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0		相談支援員、学校、家庭、保育園、多事業所以外は連携していないため、さらに連携機関が広がるよう努力していきます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0		関係者機関と連携を取り支援内容に反映しております。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	0	0		主治医や医療機関とも連絡、情報共有しています。

25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	0		今後も支援内容の情報共有に努めていきます。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	0		今後も支援内容の情報共有に努め、こちらから面談や支援会議の開催のご提案ができるよう努力して参ります。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	・中央療育センターと情報を共有している ・研修を受けた人から伝達講習がないため現場で活かしきれてないと感じることがある	限られた事業所としか交流がないため、交流を広げていき専門機関との連携にも努力していきます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	0		取り入れていけるよう努力していきます。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	1	0		責任者だけでなく、多くの職員が管理者とともに参加できるよう積極的に参加して参ります。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0		これからも、連絡帳でのやりとりだけでなく、送迎時に保護者様お顔を拝見しながら状況報告をし、お子様に対する共通理解を深めてまいります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	4	0		今後ともご家族からの聞き取りを大切にしながら支援をしていけたらと思っています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	・マニュアルに沿って行えている	これからも丁寧にご説明してまいります。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	0		これからも、作成した計画書の内容説明を、計画書をご覧いただきながら丁寧に行ってまいります。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	・保護者会を実施 ・的を得た回答が行えていないと思うこともある	これからも、保護者様との適切でより良い関係性を保ちながら、ご家族支援の観点に立ち定期面談以外にも、電話や訪問ご要望があればいつでもご相談いただける環境を整えてまいります。保護者会での聞き取り内容・返答につきましても見直していき、保護者様・ご本人様の不安やお困りごとの解消につなげていけるように努めてまいります。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	0		父母会が開催できておりません。開催のための努力をしております。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	・その都度、丁寧に聞きとり迅速に対応ができるようにしている	今後も即対応すること、丁寧に向き合う気持ちを大切に努力していきます。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	・キッズリーの活用ができています	日々の活動内容が楽しく閲覧いただけるInstagramやイベントや会報誌のお知らせを連絡帳アプリで発信していきます。
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0	・十分に気をつけている	これからも十分に注意していきます
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		今後も保護者との意思の疎通や情報伝達に努力していきます。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	0		あまりできていないので努力していきます。

41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	0	・緊急時の対応について自分はまだまだ動いていいかわからないため、一人一人どう対応したら良いのか知っていく	毎月15日に防災・避難訓練を実施しています。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	・毎月防災訓練の実施をしている	毎月15日に防災・避難訓練を実施しています。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	0		面談の際のアセスメントの更新時に必ず確認していますが、その途中の場合は保護者様からご報告いただけるようお願いしていきます。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	・指示書への記載がない利用児へは他の方法(書類にて)の指示で対応している	そのような場合は医師の指示書に基づいて対応いたします。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	4	0	・振り返り、共有不足があり気をつけたい	ミーティングにて事例を共有、原因の追究や問題解決を話し合い、毎月のミーティングにて当月の事例を再度検討しています。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3	0		社内研修では必須項目にしており、毎朝のミーティングにて前日の身体拘束に関する記録を確認しながら適切な対応ができるよう努めています
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	0		毎日の業務で身体拘束に関する記録を残し、今後も計画書更新のたびに計画書に記載している身体拘束に関する説明を丁寧に行っていきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2024年3月29日

事業所名：チャイルドケアハースラーニング重心

アンケート期間：2024年2月1日～2024年2月22日

	チェック項目	はい	いいえ	該当しない	工夫している点や改善すべき点	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	0	・放課後の利用児が中心となった日や長期休み中はスペースが足りず、安全な場所の確保に配慮を要する ・歩ける児童に重心の児が踏まれそうになることもある	室内の整理整頓、清潔面を徹底させつつ、室内の広いスペースの確保と活動内容に合わせ、子ども達が楽しいと思える空間、快適な環境をご提供できるよう努めてまいります。
2	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	・ギリギリの人員配置	基準を満たし、かつ安全が保てるよう職員を確保しています。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	0		落ち着いて過ごせるように部屋を分けるなど配慮しています。 玄関からバリアフリーとなっており、スロープにも滑り止めを設置。各種、手すりなども設置してあります。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	・日々の申し送りや定期的に職員間でミーティングを開催しご利用者様の情報共有や支援方法について検討。またレクリエーションなどの活動計画、運営していくうえで改善すべきことなど話し合いをしている	面談も参加できる職員はできるだけ多く参加したり、面談の内容の申し送りや議事録の作成、それを踏まえてのモニタリングをチーム全体で評価し、カンファレンスをミーティングで行っています。そのカンファレンスと元に原案を作成しなおし、その原案の見直しと確認を再度会議で検討して、計画書を作成しています。

5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0		今まで以上に保護者様との適切でより良い関係性を保ちながら、家族支援も充実させるべく定期面談以外にも電話や訪問等の支援も行っています。
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0		今後も会報やホームページ等の公開を続けていきます。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0		これからも評価結果を業務改善につなげていきます。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・できる範囲で実施していると思う	ZOOM研修や他施設の研修、他事業所との連携研修など、積極的に職員が興味を持った研修に自発的に参加できるよう努めてまいります
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・実施できている	初回利用時やその都度保護者様と情報共有をしてニーズに合うように作成するように努めています。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	・実施できている	標準化されたアセスメントシートが重度心身障害児向けの傾向が強い内容となっているため、当事業所に作成した項目シートも追加しています。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・児童指導員が中心に工夫された活動が計画されている	前月に活動スケジュールをチームで立案、利用児童に合わせて調整をしています。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・利用者別に合った活動が考えられている	日々の活動が固定化しないように、スタッフ間で遊びの情報共有し、子ども達が遊びや楽しいと思える活動をしていく中でたくさんの経験がためることも達ファーストで活動プログラムを提供できるよう努めてまいります。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0		平日、休日、長期休暇でそれぞれ活動内容を変え、長期休暇には平日では行なえような支援やイベント・活動を提供させていただいています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・状況に合わせて柔軟に対応している	計画書の目標に、個別活動による目標課題と集団活動による目標課題を設け、日々集団支援と個別支援を意識して療育にあたっています
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	0		朝の申し送りにて個々の児童の支援内容を確認したうえで、検討すべき点は職員全員で相談し内容の変更などを行っています
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	・振り返りはシフトの時間都合上あまりできていない	その日が休日の職員が翌日確認ができるよう会社のアプリにて情報の共有をしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	・記録はないが検討することはある	当日の利用児童全員、できるだけ多くの支援経過を業務日誌や連絡帳等に記録しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	・カンファレンスを実施しているが十分行えていない ・更新時期でモニタリングの実施ができていない	職員全体で話し合う定期的なミーティングの中で、更新児童のモニタリングを行なっています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1	0		平日も集団・個別活動以外に外出もできるだけ支援していけるよう努力していきます。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	・管理者のみでなく必要と判断される職員が参加できている	管理者のみでなく全員が多く参加できるようにしていきます。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0		お迎え時だけでなく、学校の先生に事前にアポをとり管理者が情報共有する時間を設けるようにしていきます。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	0	0		主治医と連絡をとり、支援で気を付けることや医療的ケアの指示書を頂いています。

23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	0		今後は、就学後も利用者様の状況に応じて、卒業された保育園、幼稚園との情報共有に努めていきます。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0		卒業生が出た場合は、積極的に情報提供をしていきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	・研修は受けているようだが伝達講習は行なっておらず、共有できていない。もっと現場に活かせるようにして欲しい	相談支援員、学校、家庭、保育園、他事業所以外は連携していないので、さらに連携機関が広がるよう努力していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	0		交流の機会がないので、どのような交流が望ましいか検討していきます。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	0		今後も積極的に参加していきます。また管理者クラスだけでなく、その他のスタッフも参加できるようにしていきます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・保護者会を実施しているが、保護者からの不安の声に対して的を得た回答ができていないと感じることがある	これからも、保護者様との適切でより良い関係性を保ちながら、ご家族支援の観点に立ち定期面談以外にも、電話や訪問ご要望があればいつでもご相談いただける環境を整えてまいります。保護者会での聞き取り内容・返答につきましても見直していき、保護者様・ご本人様の不安やお困りごとの解消につなげていけるように努めてまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	0		今後ともご家族からの聞き取りを大切にしながら支援をしていけたらと思っています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0		今後も丁寧に説明していきます。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・保護者会での対応が時折不十分と感じることがある	定期面談以外にも、面談を行い管理者だけでなくスタッフ全員が参加できる面談となるよう配慮し、保護者様の支援にも努めていきます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	0		保護者様同士の連携となる支援や父母会の開催ができていないので、父母会の開催を努力していきたいと思っております。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		今後とも、そういったことが起きないように努力していく所存です。もしも、そのようなことが起きた場合は保護者様に周知、説明、迅速な対応に努めてまいります。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		日々の活動の様子は連絡帳アプリにて報告。インスタグラムにも情報のアップをしていきます。また、毎月一回会報誌『ハースといっしょ』を公開しています。
35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0		これからも十分注意していきます。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		メール、アプリ連絡以外に、連絡の内容にあわせお電話や訪問でも迅速な情報伝達を心がけてまいります。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	0		できていないので、どのように取り組んでいくか検討していきます。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0		毎月15日に防災・避難訓練を実施しています。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0		毎月15日に防災・避難訓練を実施しています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	3	0		内部研修にて確認しています。

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0		計画書の内容に盛り込み、計画書更新のたびに説明しています。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0		医師指示書をもとに取り組んでいます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	0	・十分行えてはいない。もっと意識して取り組みたい	事例が起きたらヒヤリハットを記載し、当日申し送りをし、事例を月ごと保管しその月のミーティングにて再度、問題や原因について話し合い記録を保管しています。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。